

新しい福祉のかたちの
実現をめざす

桑名福祉ヴィレッジ

大解剖!

今年4月、さまざまな年代・性別の人たちが共に生活する施設としてオープンした「桑名福祉ヴィレッジ」。そこで働くスタッフや利用者の人たちにお話を伺いました。

問 秘書広報課（☎ 24-1492 FAX 24-1119）



すまいのエリア
養護老人ホーム／
母子生活支援施設

設備が充実し、施設が一つになったことによる連携も生まれています。

かよいのエリア
保育園／生活介護／児童発達支援センター／相談支援センター／ケアプランセンター

子ども、障害のある人など、さまざまな人が交流。

かかわりあいのエリア
らいむショップ／
ヴィレッジセンター

誰でも利用できる交流ラウンジや、食品や日用品などを販売するお店があります。

ヴィレッジ公園
(やまざきパーク)

既存林を生かした公園には、芝生広場や散策路があります。

所在地 星川2239-1
・駐車場あり
・K-バス「法務局前」(西部北ルート)から徒歩1分
・三重交通「公団住宅前」から徒歩3分

桑名福祉ヴィレッジが “新しい”と言われる理由

養護老人ホームや保育園などさまざまな施設を集約し、誰もが利用できる公園を併設する桑名福祉ヴィレッジ。福祉の課題解決につながる新しい取り組みとして全国から注目されています。「新しい」と言われる理由を中川総センター長に伺いました。



多世代共生施設らいむの丘 総センター長 中川 義文 さん

多世代共生施設らいむの丘内の7施設を取りまとめる総センター長。児童発達支援センター長を兼務。

みんながお互いを助け合う
人間社会の本来の姿に

地域全体で福祉を考える
きっかけに

どんな立場の人も生活に関する困りごとを相談でき、お互いを助け合うことをめざしたのが「桑名福祉ヴィレッジ」です。今は個の時代と言われますが、個人では解決できないことも日々あります。ここでは、互いに協力しながら過ごすことができます。子ども同士の交流など、世代や立場、境遇を越えた交流などが生まれることを期待しています。



「誰もが気軽に相談できる場所を作るのは長年の夢だった」と語る中川さん。

- 世代や立場を超えた人の交流が生まれる場所に
- 福祉を自分ごととしてとらえるきっかけとなる場所に
- 互いに協力し、助け合う社会に

いろいろな立場の人と自然に 子どもの成長のプラスに

らいむの丘保育園



子どもの成長を細やかに
見てくれるのを感じます

保護者の古川さん

高齢者や障害者、外国人など、世の中にいろいろな立場の人があるということを、子どものうちから知ることはとても大切です。まずは知ることがスタートだと思うので、今後は施設間の交流の中で一緒に遊んだり、季節の行事などをやったりしたいですね。児童発達支援センターと同じ建物内にあることで、ちょっと気になることを気軽に専門のスタッフに相談できるのは保育士としてもありがたいです。

保育園の先生が本当に子どもに愛情をいでてくれていることが分かるので、安心してお任せできます。子どもも保育園へ通うのが楽しみのようで、休日も行きたがるほど。児童発達支援センターへも通っているので、送迎の負担が減ることや内部で連携してくれるのもありがたいですね。高齢者や障害者など、家庭では接することのない人のことを保育園で自然に知れるのも良いことだと思います。

保育園併設でさらに通いやすく 専門職スタッフが増え 訓練用の個室も増えました

児童発達支援センターらいむの丘

登録児童は100人を超え、スタッフは30人ほどが在籍しています。療育センターの時と比べて、部屋数が増えたことで訓練などの時間数を増やしたいという保護者のニーズに応えられるようになりました。

専門のスタッフも多く在籍しているので、気軽に相談できるのもメリットに感じています。ゆくゆくは1階の保育園との交流保育など、子どもたちに人との関わりを体験してほしいと考えています。



保育士
上田 向日葵 さん



保育士
豊田 千里 さん

私も保育園へ通うのが楽しみのようで、休日も行きたがるほど。児童発達支援センターへも通っているので、送迎の負担が減ることや内部で連携してくれるのもありがたいですね。高齢者や障害者など、家庭では接することのない人のことを保育園で自然に知れるのも良いことだと思います。

いろいろな人との交流が子どもの成長のプラスに

高齢者や障害者、外国人など、世の中にいろいろな立場の人があるということを、子どものうちから知ることはとても大切です。まずは知ることがスタートだと思うので、今後は施設間の交流の中で一緒に遊んだり、季節の行事などをやったりしたいですね。児童発達支援センターと同じ建物内にあることで、ちょっとと気になることを気軽に専門のスタッフに相談できるのは保育士としてもありがたいです。

保育園の先生が本当に子どもに愛情をいでてくれていることが分かるので、安心してお任せできます。子どもも保育園へ通うのが楽しみのようで、休日も行きたがるほど。児童発達支援センターへも通っているので、送迎の負担が減ることや内部で連携してくれるのもありがたいですね。高齢者や障害者など、家庭では接することのない人のことを保育園で自然に知れるのも良いことだと思います。

桑名福祉ヴィレッジは、福祉の現場で課題となっていたこと、これまでの時代に必要とされたことなどを凝縮した施設です。全国各地から、これから福祉のあり方の一つとして注目されていまます。地域住民の人からもさまざまなお声をかけていただいている、好意的に接していただけています。今後は事業所内だけでなく、地域を巻き込んだ活動をしていきたいですね。

